

早稲田 中学校

所在地／〒162-8654 新宿区馬場下町62
TEL／03-3202-7674
学校長／笹倉 和幸
創立／1895年に大隈重信の教育理念に基づき、坪内逍遙らが早稲田中学校を創立。1979年より早稲田大学の系属校となる。
URL／www.waseda-h.ed.jp

	1年	2年	3年
男子	320名	322名	325名
女子	—	—	—
クラス数	7組	7組	7組
中高総生徒数／1908名			



〈交通アクセス〉
東京メトロ東西線「早稲田」駅より徒歩1分
東京メトロ副都心線「西早稲田」駅より徒歩15分

早稲田大学の系属校でありながら国公立大への進学実績も好調

早稲田大学の付属・系属校のなかでは、最も古い伝統を誇る学校です。大学が「学問の独立」を唱えているのに対して、中高では「人格の独立」を掲げ、自立心を育てるとともに一人ひとりの個性を伸ばし、社会に貢献できる人材の育成に努めています。系属校として約半数が早稲田大学に推薦で進む一方、約半数は難関国公立大学や医学部への進学をめざしており、進学校としての色彩が強いのが特徴です。2023年秋に、自習室や理科実験室が入る新3号館と図書館やアリーナを擁する新興風館が完成しました。

スクールライフ

●教育内容

完全中高一貫教育により、早稲田大学を含め、各自の志望大学に進学できる学力の養成を図ります。授業は先取りで進度が速く、数学と英語は中3で高校課程に入ります。英語の習得（中2・3で外国人講師による英会話が週1時間）や体験学習にも力を入れています。中1の鎌倉研修ではテーマごとに小グループに分かれてフィールドワークを行い、成果をレポートにまとめて授業で発表します。中3では地学の授業の一環として、地層調査や化石採集などの野外実習を長溝で行います。長期休暇中や放課後には、学習の定着と発展のため、補習（指名制）や講習（希望制）を実施しています。

■主要5教科の週当たり時間（コマ）数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	5	5	4	5	4
2年	6	5	5	5	5
3年	7	5	5	5	5
合計	18	15	14	15	14

◎1日当たりの授業コマ数：50分×6時限

※中1は月～金のうち1日は5時限、土曜日は4時限

◎登校時間：8時10分

マネーガイド

■2025年度納付金（諸経費を含む）

	入学金	授業料	施設費	その他	計
入学手続時	300,000円	194,500円	63,000円	108,000円	665,500円
初年度総額	300,000円	466,800円	151,200円	216,000円	1,134,000円

※入学を辞退する場合、学費のみを返還

●部活動

サッカー部、硬式庭球部などには150名以上が所属しています。フェンシング部、弓道部は関東大会や全国大会に出場する強豪です。

○文化系／クイズ研究、囲碁、物理研究、化学研究、地学、吹奏楽、歴史研究、鉄道研究、軽音楽、将棋、PCプログラミング、折紙、英会話、文芸、マジック、釣り研究、模型、弦楽、生物園芸、美術、数学研究など

○体育系／ソフトテニス、硬式野球、バレーボール、バドミントン、剣道、卓球、水泳、バスケットボール、ワンダーフォーゲル、サイクリング、柔道など

●行事

毎年、春に中学と高校に分けて実施する体育大会と、秋の興風祭（文化祭）が二大イベントです。伝統行事である利根川歩行では、利根川上流から銚子の犬吠埼灯台までの約200kmを、6年かけて完歩します。さらにスポーツ大会や芸術鑑賞など、学年ごとに特色のあるさまざまなイベントが企画されています。

●修学旅行・研修旅行

中学校の宿泊行事には中1の林間学校、中2のスキー学校、中2・3のサマーキャンプがあります。高2の関西研修は、3泊4日の班別行動です。旅行委員が企画を立ち上げ、各班が時間をかけて独創性豊かな行動計画を作成します。

◎寄付金：1口10万円、2口以上（任意）

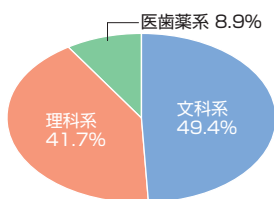
◎授業料：分納

◎奨学金・特待生制度：経済的理由により、就学困難と判断される者に、奨学金として授業料・施設費・維持費などの相当金額を給付

進学指導の概要

生徒一人ひとりの目標や希望に応じた進路の実現をサポートしています。高2で文系・理系に分かれ、高3では選択科目が設定されます。長期休暇中の講習では、学年別にさまざまな講座が設定され、多くの生徒が受講します。早稲田大学への進学は卒業生の約半数です。ちなみに、2025年度の卒業

■現役大学進学者の進路の内訳



生のうち146名が早稲田大学に推薦合格。その内訳は政経20名、法13名、文化構想11名、文9名、教育19名、商15名、基幹15名、創造12名、先進11

名、社会科学15名などとなっています。その他の生徒は国公立大学や医学部を中心とした他大学に進学します。

■併設高校から主要大学への合格実績

※上段は現役合格者数、下段は浪人を含めた合格者数。

	北海道大	東北大	東京大							京都大	一橋大	東京科学大	東京芸術大	東京学芸大	東京外国語大	東京農工大	千葉大	筑波大
			文科Ⅰ類	文科Ⅱ類	文科Ⅲ類	理科Ⅰ類	理科Ⅱ類	理科Ⅲ類	合計									
23年	2	2	7	4	3	13	4	—	31	4	5	—	—	—	—	2	4	3
	2	3	10	5	4	13	7	—	39	8	5	—	—	—	—	2	4	3
24年	4	1	8	3	2	13	6	—	32	10	5	—	—	—	—	—	3	1
	5	2	10	5	4	16	8	—	43	11	5	—	—	—	—	—	3	4
25年	2	2	2	8	2	10	2	—	24	7	2	14	—	—	—	1	3	4
	2	4	2	9	2	14	3	—	30	9	3	20	—	1	—	1	7	4

	横浜国立大	東京都立大	横浜市立大	早稲田大	慶應義塾大	上智大	東京理科大	国際基督教大	学習院大	明治大	青山学院大	立教大	中央大	法政大	管文部科学省所 外の大学校	海外の大学	国公立・医学部	私立・医学部
23年	1	—	—	229	57	12	30	—	—	14	2	2	6	6	1	—	11	22
	1	—	—	253	72	18	54	—	—	28	5	2	10	11	4	—	26	42
24年	1	1	—	258	55	11	32	—	—	11	2	3	5	2	2	—	14	22
	3	1	—	293	77	12	53	—	—	27	4	4	11	11	2	—	17	28
25年	5	—	—	229	42	9	34	—	—	17	1	—	3	—	2	—	15	20
	5	—	—	251	58	16	54	1	1	30	3	1	7	2	8	—	25	36

★指定校推薦枠（2025年度）慶應義塾大3名など

入試情報

■過去3年間の入試結果

		募集人員	出願者	受験者	合格者	実質倍率
23年	1回	帰国生200	830	723	257	2.8
	2回	帰国生100	1391	963	228	4.2
24年	1回	帰国生200	855	740	253	2.9
	2回	帰国生100	1460	1015	214	4.7
25年	1回	帰国生200	831	747	246	3.0
	2回	帰国生100	1437	994	236	4.2

■2025年度入試 受験者・合格者の教科別平均点

		算数	国語	理科	社会	合計
1回	受験者	28.3	37.1	28.2	23.4	117.1
	合格者	36.2	43.9	32.5	26.2	138.8
2回	受験者	32.6	29.6	24.4	20.0	106.5
	合格者	45.2	37.6	28.5	23.3	134.5

○配点：算国＝各60点 理社＝各40点
○合格最低点：1回128点 2回123点

25年の募集要項

※以下は2025年の募集要項です。2026年の要項は学校の発表をお待ちください。

入試日／①2月1日 ②2月3日

募集人員／男子300名(①200名 ②100名)

合格発表／①2月2日 ②2月4日

手続締切／2月5日(第一次入学手続)

試験科目／国語(50分・60点)、算数(50分・60点)、
理科(30分・40点)、社会(30分・40点)

面接／なし

受験料／1回につき、27,000円(①②とも出願し、①に合格後、第二次入学手続を完了した受験生については②の受験料を返金)

公開行事・説明会予定

【学校説明会】要予約 本校 誠ホール
8月30日(土) 9時～、12時～、15時～
8月31日(日) 9時～、12時～、15時～

【興風祭（文化祭）】

9月27日(土) 9時～16時

9月28日(日) 9時～16時

◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOBの声

- 興風祭（文化祭）は、ほぼ1年かけて準備をするので、実行委員はどの部署も大変です。でも、その一員になるのとならないのとでは、早稲田での中高生活の濃度は違ってくるでしょう。ぼくは来年以降も希望して、高2では幹部になりたいと思っています。
- 早稲田の恒例行事といえば、50年以上続く「利根川歩行」です。利根川上流から千葉県の大吠埼灯台までを6年間で歩き切る行事です。中1では上流から約16kmの地点まで歩きました。